

平成25年度 第2回松江市入札監視委員会

議 事 概 要

| | | |
|----------------------|--|---|
| 開催日及び場所 | 平成25年10月28日(月) 松江市役所 本館北棟3階 入札室 | |
| 委 員 | 委員長 朝田 良作(島根大学法科大学院教授) 委員 有田 友子(元島根地方労働審議会委員) 上田 務(松江工業高等専門学校名誉教授) 大野 敏之(弁護士) 後藤 勇(公認会計士) | |
| 審議対象期間 | 平成25年4月1日～平成25年7月31日 | |
| 報告事項 | <ul style="list-style-type: none"> ・落札率等の状況について ・入札方式別発注工事等の状況について ・指名停止等の運用状況について等 | |
| 審 議 事 項 | 抽出案件数 5件 | |
| | 一般 | 1. 松江市立来待小学校大規模改修1期(建築)工事 2. 平成25年度稲積川河川改修その1工事 |
| | 指名 | 3. 平成25年度外中原町雨水枝線工事 4. 松江市立城北幼稚園大規模改修(機械設備)工事 |
| | 指名 | 5. 旧県立プール解体工事に伴う工損調査業務委託 |
| | (備考) | 抽出の考え方(抽出担当委員) 次の点に着目し、抽出を行った。 ・契約金額が高く落札率が大きい案件。 ・入札参加申請業者、入札参加業者数がともに少ない案件。 ・指名業者数に対して、入札参加者が少ない案件。 |
| 委員からの意見・質問、それに対する回答等 | 意見・質問 | 回答 |
| | 別紙のとおり | 別紙のとおり |
| 委員会による意見又は勧告の内容 | なし | |

※参考までに、各抽出事案の「抽出事案説明書」を添付します。

抽出事案説明書

| | | | |
|-----------------|---|--------|----|
| 入札方式 | 一般競争入札 | | |
| 工事名 | 松江市立来待小学校大規模改修1期(建築)工事 | | |
| 工期 | 平成25年5月29日～平成25年9月30日 | | |
| 工事種別 | 建築一式工事 | | |
| 工事概要 | <p>来待小学校校舎の老朽改修工事を行うもの。</p> <p>管理及び特別教室棟 RC造2階建 1,253m² 渡り廊下棟 RC造2階建 49m²</p> <ul style="list-style-type: none"> 老朽化に伴う内外装大規模改修工事 床、壁全面改修等 屋上防水改修：遮熱塩ビシート防水 611m² 塗膜防水 134m² 耐震補強工事 構造スリット 5ヶ所 | | |
| 入札参加資格 | ① 資格及び格付、総合点数 平成25・26年度松江市建設工事競争入札参加者名簿に記載があり、建築一式工事の総合点数が741点以上であること(松江市の格付B以上に相当) ② 営業所所在地 建設業法に規定する主たる営業所を松江市内に有すること。 ③ 工事実績 平成10年度以降に完成した1契約で5,000万円以上の建築一式工事の施工実績があること。 ④ 配置予定技術者 申請者との直接的・恒常的な雇用関係にあること。また、主任技術者又は監理技術者を専任で配置できること。 | | |
| 入札参加資格設定の理由及び経緯 | 設定理由：「事後審査型制限付一般競争入札取扱方針」による。 経緯：平成25年4月12日、一般競争入札資格審査委員会において審議の結果決定した。 | | |
| 入札参加資格確認申請業者数 | 4社 | | |
| 入札参加業者数 | 4社 | 無資格業者数 | なし |
| 予定価格(税込) | 130,672,500円 | | |
| 調査基準価格(税込) | 117,605,250円 | | |
| 契約金額(税込) | 113,400,000円(落札率：86.78%) | | |
| 入札の経緯及び結果 | 平成25年5月16日 開札 最低価格者：(株)植尾組 平成25年5月23日 事後審査の結果、(株)植尾組に落札決定 (詳細は「入札調書」のとおり。) | | |

抽出事案説明書

| | | | |
|-----------------|---|--------|----|
| 入札方式 | 一般競争入札 | | |
| 工事名 | 平成25年度稲積川河川改修その1工事 | | |
| 工期 | 平成25年7月13日～平成26年2月26日 | | |
| 工事種別 | 土木一式工事 | | |
| 工事概要 | 施工延長 L=121.4m (左岸 L=96.3m、右岸 L=61.5m) ・コンクリートブロック積工 A=298m ² ・根継工 L=14m ・落差工 N=1箇所 ・根固工 L=34m ・橋梁架替 N=1箇所 | | |
| 入札参加資格 | ①資格及び格付、総合点数 平成25・26年度松江市建設工事競争入札参加資格者名簿に記載があり、A等級又はB等級であること。又は、C等級の者のうち、松江市発注の平成24年度に完成した土木工事が複数あり、その全工事成績の平均点が76点以上であること。 ②営業所所在地 建設業法に規定する主たる営業所を松江市内に有すること。 ③工事实績 平成10年度以降に完成した公共工事のうち、1契約で1,000万円以上の土木一式工事の施工実績があること。 ④配置予定技術者 申請者との直接的・恒常的な雇用関係があること。また、主任技術者又は監理技術者を専任で配置できること。 | | |
| 入札参加資格設定の理由及び経緯 | 設定理由：「事後審査型制限付一般競争入札取扱方針」による。 経緯：平成25年6月13日、一般競争入札資格審査委員会において審議の結果決定した。 | | |
| 入札参加資格確認申請業者数 | 3社 | | |
| 入札参加業者数 | 3社 | 無資格業者数 | なし |
| 予定価格(税込) | 29,337,000円 | | |
| 最低制限価格(税込) | 25,828,950円 | | |
| 契約金額(税込) | 27,090,000円(落札率：92.34%) | | |
| 入札の経緯及び結果 | 平成25年7月4日 開札 最低価格者：(株)紅花組 平成25年7月8日 事後審査の結果、(株)紅花組に落札決定 (詳細は「入札調書」のとおり。) | | |

抽出事案説明書

| | |
|--------------|---|
| 入札方式 | 指名競争入札 |
| 工事名 | 平成25年度外中原町雨水枝線工事 |
| 工期 | 平成25年7月23日～平成25年11月19日 |
| 工事種別 | 土木一式工事 |
| 工事概要 | <p>外中原町地内の大雄寺川流域と千鳥幹線流域について、既設水路が狭小なことによる流下能力不足が確認され、降雨による浸水被害が生じている。雨水排水対策及び浸水被害の解消として各路線の断面変更及び路線系統の変更工事を行うもの。</p> <p>工事場所 松江市外中原町地内</p> <p>工事内容 施工延長 L=111.0m 自由勾配側溝</p> |
| 工事のランク | 土木一式工事 A等級又はB等級又はC等級又はD等級 |
| 指名業者数 | 15社 |
| 指名業者を選定した考え方 | 松江市建設工事入札参加者等選定要領及び同運用基準に基づき、土木一式工事登録のある市内業者のうち、建設業法に規定する主たる営業所が松江市橋北地区にある44社の中から、ローテーションで15社を選定した。 |
| 入札参加業者数 | 10社 |
| 予定価格(税込) | 16,023,000円 |
| 最低制限価格(税込) | 13,867,350円 |
| 契約金額(税込) | 15,209,250円(落札率:94.92%) |
| 入札の経緯及び結果 | 平成25年7月18日 開札 (有創成建設に落札決定。 (詳細は入札経過表のとおり。)) |

抽出事案説明書

| | |
|--------------|---|
| 入札方式 | 指名競争入札 |
| 工事名 | 松江市立城北幼稚園大規模改修（機械設備）工事 |
| 工期 | 平成25年6月21日～平成25年9月2日 |
| 工事種別 | 管工事 |
| 工事概要 | <p>昭和46年に建設された、城北幼稚園が老朽化しており、大規模改修を行うもの。また、併せて耐震改修も行う。</p> <p>工事場所 松江市東奥谷町地内</p> <p>○大規模改修及び、耐震改修における機械設備工事 既設園舎…鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地上2階建 延床面積：約1,453m²</p> <p>○増築工事 廊下棟…鉄骨造 地上2階建 延床面積：約85m²</p> |
| 工事のランク | なし |
| 指名業者数 | 20社 |
| 指名業者を選定した考え方 | 松江市建設工事入札参加者等選定要領及び同運用基準に基づき、管工事登録のある市内業者で平成10年度以降の主たる給排水衛生設備工事500万円以上の実績のある26社のうち、20社をローテーションにより選定した。 |
| 入札参加業者数 | 7社（13社辞退） |
| 予定価格（税込） | 16,074,450円 |
| 最低制限価格（税込） | 14,453,250円 |
| 契約金額（税込） | 15,120,000円（落札率：94.06%） |
| 入札の経緯及び結果 | 平成25年6月19日 開札 新和設備工業(株)に落札決定。 (詳細は入札経過表のとおり。) |

抽出事案説明書

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------|--|----------------|-----|--------|----|-------|---|------------|----|-------|---|----------------|----|-------|--|-------|----|-------|--|-----------|-----|-------|--|------------|-----|-------|--|------------|----|
| 入札方式 | 指名競争入札 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 業務名 | 旧県立プール解体工事に伴う工損調査業務委託 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 委託期間 | 平成25年5月21日～平成26年3月25日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 業務種別 | 補償関係コンサルタント業務 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 業務概要 | <p>旧県立プール解体工事に伴う周辺家屋への影響を考慮し、工損調査を行うもの。</p> <p>工損調査 事前・事後調査 32棟</p> <table> <tr> <td>非木造建物</td> <td>イ</td> <td>200㎡未満</td> <td>1棟</td> </tr> <tr> <td>非木造建物</td> <td>イ</td> <td>400～600㎡未満</td> <td>1棟</td> </tr> <tr> <td>非木造建物</td> <td>イ</td> <td>1,000～1,500㎡未満</td> <td>1棟</td> </tr> <tr> <td>木造建物A</td> <td></td> <td>70㎡未満</td> <td>1棟</td> </tr> <tr> <td>木造建物A</td> <td></td> <td>70～130㎡未満</td> <td>14棟</td> </tr> <tr> <td>木造建物A</td> <td></td> <td>130～200㎡未満</td> <td>11棟</td> </tr> <tr> <td>木造建物A</td> <td></td> <td>200～300㎡未満</td> <td>3棟</td> </tr> </table> <p>打合協議 一式</p> | 非木造建物 | イ | 200㎡未満 | 1棟 | 非木造建物 | イ | 400～600㎡未満 | 1棟 | 非木造建物 | イ | 1,000～1,500㎡未満 | 1棟 | 木造建物A | | 70㎡未満 | 1棟 | 木造建物A | | 70～130㎡未満 | 14棟 | 木造建物A | | 130～200㎡未満 | 11棟 | 木造建物A | | 200～300㎡未満 | 3棟 |
| 非木造建物 | イ | 200㎡未満 | 1棟 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 非木造建物 | イ | 400～600㎡未満 | 1棟 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 非木造建物 | イ | 1,000～1,500㎡未満 | 1棟 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 木造建物A | | 70㎡未満 | 1棟 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 木造建物A | | 70～130㎡未満 | 14棟 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 木造建物A | | 130～200㎡未満 | 11棟 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 木造建物A | | 200～300㎡未満 | 3棟 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 業務のランク | なし | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 指名業者数 | 15社 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 指名業者を選定した考え方 | <p>松江市建設工事入札参加者等選定要領及び同運用基準に基づき、補償関係コンサルタント業務登録のある市内業者のうち、事業損失調査部門の補償業務管理士または実務経験者が在籍する18社の中から、15社をローテーションにより選定した。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 入札参加業者数 | 15社 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 契約金額(税込) | 10,500,000円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 入札の経緯及び結果 | <p>平成25年5月15日 開札 (株)プロジェクトに落札決定。 (詳細は入札経過表のとおり。)</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

1. 落札率等の状況について

(報告要旨)

[建設工事]

- 平成 25 年 4 月から 7 月までの落札率は、低入札調査基準価格等を設定しない工事を除き、93.81%と前年度と比較して 3.6 ポイント上昇している。主な上昇理由としては、25 年 3 月の入札制度改正により調査基準価格、最低制限価格の算定方法を見直したため、基準価格等が土木で 3%、建築で 4%引上げとなったことが要因と推測される。
- 4 月から 7 月までの入札件数は 127 件で、前年同期 119 件からは 8 件増加している。
落札率については、5 月、6 月は当期間平均に近い 93%台、7 月は平均よりやや高い値となっている。7 月は、5 月、6 月に比べ落札率 98、99%台の工事が多く見受けられた。
- 前年度より上昇している主な工種は、土木、建築、とび土工コンクリート、管などである。全般的には調査基準価格等の算定方法の見直しが主な要因と思われる。土木は、落札率が比較的低い傾向にあった下水道工事が上下水道局へ移行したことも一因と思われ 5.44%と大きく上昇している。
とび土工コンクリートは解体工事の落札率が高い。これは旧県立プール解体工事で、地盤の軟弱な市街地内であり、周辺に建物が多いことも一因と思われる。
管は比較的工期の短い学校施設等の空調設備工事が落札率を上げている。
前年度より低下している工種は、電気と舗装である。電気は 23 年度並みに低下し、舗装は落札率 80%台の工事が 1 件あり、それが全体を引下げている。この工事は周辺に建物が少なく交通量も少なく施行しやすい工事であることも一因と推測される。
- 500 万円未満、500 万～1000 万円は、前年度まで 3 年連続落札率が低下していたが、上昇に転じている。今期は前年度と比較できる価格帯においてはどの価格帯も上昇している。落札率が 95%を超えている価格帯の、5000 万～6000 万円は校舎耐震補強工事、幼保園の空調設備工事、港湾工事の 3 件である。1 億 5000 万円以上は幼保園建設工事である。同工事は工期が短く、建築と設備、電気等 4 工事が重複する工事で落札率が高い一因と推測される。

[業務委託]

- 平成 25 年 4 月から 7 月までの落札率は、91.58%で、前年度と比較して 0.74 ポイント低下している。これは、7 月における土木設計の落札率の低下等が影響していると思われる。
- 4 月から 7 月までの入札件数は 48 件で、前年同期 47 件と前年並みの件数である。
落札率については、年平均と比較して 5 月、6 月が高く、4 月、7 月は低い。4 月は土木設計 2 件のうち 1 件の落札率が低かったため、7 月は土木設計で落札率 70%、80%台の業務があり全体を大きく引下げている。5 月は全般的に高い傾向が見受けられ、6 月は測量が高い傾向にある。
- 前年度と比較して測量、建築設計は高く、土木、地質調査、補償は落札率が低くなっている。測量は、地籍調査業務委託 6 件が前年度より高く、建築設計は校舎改修工事の設計等が高い。土木設計は 1000 万円以上の価格帯で低い傾向がある。地質調査は橋梁の地質調査・解析業務、補償は工事損害補償のための建物事前調査、建物物件調査である。
- 前年度と比較して落札率は、2000 万～3000 万円が低く、そのほかは高くなっている。
2000 万～3000 万円は土木設計が低い傾向にある。500 万～1000 万円は測量、地質調査等、1000 万～2000 万円は測量、建築設計等が高い傾向である。

2. 入札方式別発注工事等の状況について

(報告要旨)

- 4 月から 7 月の状況について、一般競争入札は、前年同期と比較し 9.03 ポイントと大きく上昇している。指名競争入札は工事で 0.26 ポイント上昇し、業務委託で 0.66 ポイント低下している。
一般競争入札集計表について、前年同期は、土木で低入札価格調査工事が 2 件、電気通信で落札率 70%台の工事もあり平均落札率が 85%となっている。今期は、入札制度改正による調査基準価格等の引上げもあり、工種別の平均落札率は、土木一式・建築一式・管等において上昇している。
件数については、土木一式が減少したものの、建築一式が増加したため前年同期とほぼ同数となっている。

| 質問及び意見 | 回答 |
|--|---|
| <p>○前年同期に比べ、押しなべて落札率が上がっているが、推測の域をでないものの個別案件の事情もあってのことと事務局から説明があった。 個別の事情については説明があり分かったが、入札方式等の変更が影響しているという見方もできると思うが、その辺りはどのように考えているのか。</p> | <p>○今説明があったように、元々、ある程度業者に対する厳しい状況があったことで、(調査基準価格等を)上げたこともあり、それが反映されたと見ている。 下水道部門の工事が50件程度あったが、上下水道の統合により上下水道局で執行されることになった。 下水道部門の工事の落札率は低かったので、その影響もあったと思われる。</p> |

【審議事項について】

1. 一般競争入札【松江市立来待小学校大規模改修1期(建築)工事】

(説明のポイント)

- ・来待小学校の校舎は昭和53年3月に竣工し、約35年たっており、老朽化に伴う大規模改修するもの。
- ・工期は、平成25年5月29日から平成25年9月30日。(実質、夏休み中の工事)
- ・管理棟及び特別教室棟があり、鉄筋コンクリート2階建て、延べ面積が1,253m²。渡り廊下棟もあり、鉄筋コンクリート2階建て、延べ面積が49m²。
- ・内部の改修は、床、壁を全面改修。外部の改修は、屋上の防水がかなり傷んでおり、遮熱性塩ビシート防水が611m²、塗膜防水が134m²。
- ・耐震補強工事は、構造スリットを5か所。
- ・請負対象額 130,672,500円、調査基準価格 117,605,250円(予定価格の90%)、契約金額 113,400,000円(落札率 86.78%)
- ・契約金額が高いのに落札率が低い理由は、落札した(株)植尾組の社長にヒアリングした結果「前年度(平成24年度)に校舎耐震補強工事を受注しており、今回工事を受注意欲が高く頑張った。」とのことであった。調査基準価格は下回ったが公共工事低入札価格調査委員会で数値的判断基準等に照合して審査した結果適合したので当業者を落札業者とした。
- ・低入札価格調査が実施されている理由は、松江市建設工事低入札価格調査制度実施要領第3条に記載の「松江市の発注する建設工事のうち請負対象額1億円以上の工事及び総合評価方式により発注する工事に適用する。」に該当するためである。

| 質問及び意見 | 回答 |
|--|---|
| <p>○前年度も校舎の工事を受注していたとのことだが、同じような工事だったのか。</p> <p>○同じような資材を動かさないで使えたなどの理由で、安く見積もることができたというわけではないか。</p> <p>○八光建設(株)が失格(数値的判断)となっているが、具体的に何故失格になったのか。</p> <p>○内訳表がないと、(株)植尾組は基準を満たしていたが、八光建設(株)は、どの基準を満たしていなかった等のことが分からない。</p> | <p>○4,000万円ちょっとの耐震補強工事であり、これも夏休み中の工事で(株)植尾組が受注した。平成25年度は大規模改修工事で2年続けてあることで(株)植尾組が頑張った。</p> <p>○1回の工事でやれば安かったかもしれないが、予算と工期の関係で単年度で行うのは難しかった。2年に分けておこなっているため、そのようなことはない。</p> <p>○直接工事費・共通仮設費・現場管理費・一般管理費で工事は構成されているが、それぞれの項目に(現場管理費だと市の設計額の70%以上等)満たさないといけない基準がある。</p> <p>○資料が添付できていなかった。 ～資料をOHPに写し説明～</p> |

| | |
|---|-------------------------|
| <p>○次回からは、失格の理由の分かる資料も加えるように。</p> <p>○本案件は適切に手続きが行われているということでしょうか。</p> <p>(全委員、了承。)</p> | <p>○次回からは、資料を添付したい。</p> |
|---|-------------------------|

2. 一般競争入札【平成 25 年度稲積川河川改修その1 工事】

(説明のポイント)

- ・当地区は、山地が海岸まで迫り、河川勾配が急である地形的要因と、河川断面が狭小なため、過去においても幾度も周辺の道路、田畑、河口部に密集する家屋が浸水している。本工事は平成 22 年度に基本設計、平成 23 年度に詳細設計を実施した成果に基づき、川幅の拡幅や、既設護岸の嵩上げをし、洪水による稲積川周辺の浸水被害を防ぐことを目的とする。
- ・入札参加資格は、平成 25・26 年度松江市建設工事競争入札参加資格者名簿に記載があり、A 等級又は B 等級であること。又は、C 等級の者のうち、松江市発注の平成 24 年度に完成した土木工事が複数あり、その全工事成績の平均点が 76 点以上であること。建設業法に規定する主たる営業所を松江市内に有し、平成 10 年度以降に完成した公共工事のうち、1 契約で 1,000 万円以上の土木一式工事の施工実績があることとしている。
- ・配置予定技術者については、申請者との直接的・恒常的な雇用関係があり、主任技術者又は監理技術者を専任で配置できることを条件としている。
- ・入札参加資格確認申請業者数は 3 社、入札参加業者も 3 社である。
- ・契約金額は 27,090,000 円、落札率は 92.34% である。
- ・参加申請業者、入札参加業者とも少ない理由は次のことが考えられる。
 - 1) 平成 21 年度から平成 25 年度の河川工事を調べると、5 年間で指名競争入札は 42 件、一般競争入札で 7 件、合計 49 件実施している。指名競争入札では、参加申請業者数は平均 8.6 者。入札参加業者は平均 5 者である。基準では 10 者選定しているものの、平成 22 年において、入札の不落が続き、どうしても工事を行わなければならないことから、不落随意契約を行った分があり、平均では 8.6 者となっている。一般競争入札については、平均の参加申請業者は 4 者。入札参加者数が平均 3.6 者ということで、金額が高くなる一般競争入札ほど、参加申請者数、入札参加者数も少なくなっている。
 - 2) 河川工事は雨が降ったり、災害の高潮等の気象条件により工程が左右されることがあり、施工期間が限定されることや、現場までの仮設道路、上流の水を締め切る等の仮設工事が必要となること、また、今回の工事は河川護岸に隣接して家屋があり、工事損失等が考えられ、十分配慮して施工する必要があること等から参加者数が少なくなったと考えられる。
 - 3) 今回の応札者は全て橋北地区に営業所がある。受注者の会社は島根町にあり、それ以外が野原町、八束町となっている。工事場所に近い業者が応札していることから、地域的な要因もあり、参加者数が少なくなったと考えられる。
 - 4) 本工事は、島根県が発行している建設工事積算基準により積算しており、歩掛単価も公表されており、事業者が提出した工事内訳書と比較しても差がなく、予定価格に近い積算がされている。

| 質 問 及 び 意 見 | 回 答 |
|--|--|
| <p>○今の説明からすると、極端に少ないということではないのか。</p> <p>○本案件は適切に手続きが行われているということでしょうか。</p> <p>(全委員、了承。)</p> | <p>○今までの実態からすると、同じような業者数であると考えている。</p> |

3. 指名競争入札【平成 25 年度外中原町雨水枝線工事】

(説明のポイント)

- ・平成 25 年度外中原町雨水枝線工事は、松江市外中原町の愛宕（アタゴ）神社から南西に施工延長 111m の区間（市道愛宕脇 3 号線）に、雨水枝線（公共下水道の補助雨水渠路線）を整備し、当該流域の低地帯の浸水解消を図るもの。
- ・土木一式工事登録のある市内業者のうち、建設業法に規定する主たる営業所が松江市橋北地区にある 44 社の中からローテーションで 15 社を選定した。入札参加者は 10 社であった。
- ・契約金額は 15,209,250 円、落札率は 94.92% である。
- ・指名業者に対して、入札参加業者が少ないのは何故かという質問に対しては次のとおり。
 - 1) 指名業者数に対する入札参加者数の割合を「入札参加率」とすると、本工事の入札参加率は 66.7% である。
 - 2) 土木一式工事（全体分）の入札参加率は、平成 25 年度（上期）は 78.2%、平成 24 年度は 60.9%、平成 23 年度は 54.5% である。
また、土木一式工事（河川課分）の入札参加率は、平成 25 年度（上期）は 72.0%、平成 24 年度は 63.2%、平成 23 年度は 53.6% である。
 - 3) 本工事の入札参加率 66.7% は、平成 25 年度の状況と比較すると僅かに低い状況にあるが、過去の状況と比較すると低くないと判断される。

質問及び意見

回答

○今説明のあったとおり、本案件は、66.7% であったが、著しく低いということではない。本案件は適切に手続きを行われているということによろしいか。

(全委員、了承。)

4. 指名競争入札【松江市立城北幼稚園大規模改修（機械設備）工事】

(説明のポイント)

- ・本工事は、昭和 46 年に建設され、築後 42 年経過した城北幼稚園園舎が老朽化しており、大規模改修を行うもの。また、併せて耐震改修も行う。
- ・工期は、平成 25 年 6 月 21 日から平成 25 年 9 月 2 日。(実質、夏休み中の工事)
- ・松江市建設工事入札参加者等選定要領及び同運用基準に基づき、管工事登録のある市内業者で平成 10 年度以降の主たる給排水衛生設備工事 500 万円以上の実績のある 26 社のうち、20 社をローテーションにより選定した。入札参加業者は 7 社だった。
- ・契約金額は 15,120,000 円（税込）、落札率は 94.06% である。
- ・指名業者に対して、入札参加業者が少ない理由としては、次のことが考えられる。
 - 1) 本工事の指名審査会は 5 月 29 日に開催しているが、それ以前に 12 件程度、夏休み中の耐震改修に伴う設備工事があり、発注工事が多く、工期も実質は 1 月半の夏休み中と短く集中している。
 - 2) 本工事は、空調工事もあるが、空調工事は職人が少なく、職人の絶対数が不足して敬遠されたことも考えられる。

質問及び意見

回答

○入札参加業者を増やし競争性を高めるということで、発注時期や工期の検討を指摘したことがあったが、幼稚園や学校等は工期が限定されてしまうものなのか。

○本案件は適切に手続きを行われているということによろしいか。

(全委員、了承。)

○どうしても、一年で一番長い休みである夏休みに限定されてしまう。

5. 指名競争入札【旧県立プール解体工事に伴う工損調査業務委託】

(説明のポイント)

- ・本業務は、旧県立プール解体工事に伴う周辺家屋への影響を考慮し、工損調査を行うもの。工損調査は事前・事後で32棟である。
- ・松江市建設工事入札参加者等選定要領及び同運用基準に基づき、補償関係コンサルタント業務登録のある市内業者のうち、事業損失調査部門の補償業務管理士または実務経験者が在籍する18社の中から15社をローテーションにより選定した。入札参加業者は15社だった。
- ・契約金額は10,500,000円(税込)である。
- ・指名業者、入札参加業者数は同じなのに落札率は高くない理由としては、次のことが考えられる。
 - 1) 過去4年間の工損等補償業務で落札率を比較すると、平成22年度は7件の補償業務があり、平均80.25%。平成23年度は7件で75.91%。平成24年度は3件で82.01%。平成25年度は3件で89.11%となっている。
 - 2) 今回の業務委託は、予定価格が1000万円を超える工損調査であり、過去にない金額の高い業務委託である関係上、指名業者15社が全て応札されたと思われる。
 - 3) 県立プール周辺に対象家屋は集中しており、業者は効率的に行えること、落札した業者は橋北地区に唯一ある業者であり、どうしても落札したいという意欲が落札率が低くなったことに繋がったと思われる。

| 質 問 及 び 意 見 | 回 答 |
|---|--|
| ○この業務は工損調査業務だが、解体工事が行われ、それに伴って発生する振動等の影響を測定する業務を委託したということか。 | ○現在、解体工事は行われているが、解体前の事前調査業務まで終わっている。解体工事が終わった後に、事後調査が行われ、事前調査と比較を行う。 |
| ○このような業務は大規模な解体工事だとセットで必ず出ることか。 | ○それぞれの工事場所、地域性による。県立プール辺りは地盤が堆積層で軟弱層である。解体する区画から40mのラインを設けて、少なくともそこは事前・事後調査を行い確認するという判断基準を設けており、それに則って実施している。 他の工事でも家の間隙を深く掘る等、危険が想定される工事は、事前・事後の調査を行い補償の対象とできるようにしている。 |
| ○具体的には、家屋の居住者や事務所の方の協力を得て行っているか。 | ○立会の上で、工事前のヒビの状況であるとかを確認し写真管理し、事後も進行していないのか比較確認している。 |
| ○設計の基準は、木造家屋であったり、大きさであったりで単価が決まっており、その積み上げで予定価格が決定されるのか。 | ○そのとおり。 |
| ○調査対象の範囲は、市側で決めるのか。別途、専門の業者に影響範囲を確認して決定しているのか。 | ○明確な基準はないが、補償コンサルタント協会の研究によると軟弱地盤では概ね40mと報告があり、それを基に設計している。ただし、地元説明も行っており、要望があれば、40mを超えても、町境、道路境等で要望に対応しているのが現状。 |
| ○補償コンサルタント協会というものがあるのか。 | ○昭和61年には、その名称で報告書が出ている。 |
| ○本工事の期間はいつまでか。 | ○平成26年2月14日まで。 |

| | |
|---|--|
| <p>○この委託は3月25日までだが、1箇月ちょっとで調査が終わるのか。</p> <p>○本案件は適切に手続きが行われているということによろしいか。</p> <p>(全委員、了承。)</p> | <p>○工期は2箇月だが、大きな振動等は1月下旬にはなくなるので、その時点で調査に入れればと考えている。</p> |
|---|--|

【報告事項】

1. 指名停止等の運用状況について

- ・平成25年4月から7月の間は、指名停止要綱の規定に基づき、松江市発注案件の指名停止3件と他機関発注案件の指名停止3件で、計6件の指名停止を行った。

2. 登録業者数の推移

- ・前回の委員会で、「登録業者数が減少しているが、競争性が失われるのではないか。松江市だけの傾向なら問題なので、調査してはどうか。」と指摘があり、松江市、鳥取市、出雲市の状況を比較した。市内本社の事業者数は、H21・22からH23・24の間に松江市と出雲市の登録業者数が微増又は横ばいとなっているが、これは市町村合併の影響による。それを除くと3市とも同様に減少する傾向がみられた。また、市外の業者数で比較しても3市とも減少しており、松江市だけでなく全体的に減少している傾向がみられた。

3. 土木・建築工事の入札参加状況

- ・前回の委員会で「土木一式工事に比べ建築一式工事の入札参加率が低い傾向がないか。建築一式工事は競争性が低くなっているともいえるので調査してはどうか」と指摘があり、平成21年度から平成25年度の状況を比較した。
 一般競争入札では、土木一式工事と建築一式工事ともに高い入札参加率であったが、指名競争入札では、土木一式工事に比べ建築一式工事の入札参加率は低い傾向が見られた。原因としては、土木に比べ建築の登録業者数が少ないこと。また、1案件で選定する業者数が土木一式工事より建築一式工事の方が多いたことが考えられる。
 平成25年度の建築一式工事指名競争入札では、入札参加率が増加しているが、まだ2案件と少ないため、継続して確認したい。

【その他】

[その他指摘事項]

- ・各年度の入札制度の変更が落札率等にどのように影響を与えているのか、全体的に評価できる資料があると便利。委員も交代するかもしれないので、公正取引委員会の資料を参考にするなどして資料作成をお願いしたい。

[次回開催予定について]

- ・抽出対象期間は平成25年8月1日から平成25年11月30日とし、抽出委員は松江市入札監視委員会運営要領の規定により、上田委員とする。
- ・平成26年2～3月頃に開催することとし、日時は事務局で調整する。

以上